

**Subject:** [Fwd: 3月24日合田先生、ルネサスさま、日本総研様メモ 100325芦原]  
**From:** 芦原秀一 <ashihara@nalab.jp>  
**Date:** Tue, 30 Mar 2010 11:14:31 +0900  
**To:** ashihara@nalab.jp

==== < メモ > =====

期日：2010年3月24日 15時半～18時  
場所：九州大学伊都キャンパス 5F 547号室  
出席者：

大垣健二 (株)ルネサステクノロジ  
井上真壮 (株)日本総研  
松井英章  
武藤一浩  
合田先生  
福田先生 (16時～17時半 途中退席)  
宮川正和 キャッツ(株)  
芦原秀一 (株)ネットワーク応用技術研究所 (敬称略)

テーマ：九州スマートグリッド実証コンソーシアム (QGRID) について  
決まったこと：  
来年度23年度公募申請ないし経済産業局への働きかけができるように  
22年度は準備する。参加者がもちより、自前で行う。  
交通系の充電インフラですすめる案が有力そうだが、電力さんの感触  
を探る。=> 芦原は3月31日に九電総合研究所の谷口副所長にあたる。  
今後もルネサスの大垣様、日本総研様にもご支援をいただく。

メモ：

<大垣様>

スマートホーム (HEMS) はハウスメーカーにかませること。BEMSはビルを  
建て直さないといけないので大変。  
HEMSは、いろいろ動いても、結局欧米の国際標準になる。

交通系でのサービスがよいのではないか。  
ITS、非接触充電による「どこでもチョロチョロ充電」構想。  
急速充電は、コネクタは思いし、粉塵、雨などに課題あり。  
電池の寿命をちじめる。ゆっくりと充電するほうが電池寿命が持つ。

市役所などでの使用がよい。ごみ収集車とか。マイクロバスなど。  
乗用車は大手自動車会社がでてくる。

<井上様@日本総研>

公的機関の関心はどうですか？  
=> 芦原：福岡市はスマートグリッドについて積極的。スマートグリッド  
村をアイランドシティにつくるなど。港湾局への働きかけもして  
OKをとったりしている。  
福岡県は、半導体実装センター、社会システム実証センターにパワー  
が裂かれており、まだまだ。  
九経局は 資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課  
本田課長補佐、大石係長  
と面談 (3/11) した。準備会への参加はOKという返事はもらった。  
スマートホームは、まだうまくいってない。各社やってるが。  
電池の制御ができない。どこも。

< 武藤様、松井様 >

自治体への提案で、交通系への提案の例がありますので、御参考方お送りします。自治体の名前は削除しないといけませんが。

< 大垣様 >

どこをターゲットにするのが重要。電力さんの系統のところも視野にいれるかだが。いれないほうがよい。地域、ホームに焦点をあてるほうがよい。電力系統とのインタフェースするときに調整させてくれ、相談にのってくださいというほうがよい。

電力さまを対象とするのではなく一般ユーザーを焦点にすること。お金が回るしくみのほうがよい。電力使用量は見えたって面白くなし。自動車への充電のほうが、おかねが回るしくみができてよい。かならず電気自動車ないしプラグインハイブリッドになると充電拠点が必要になる。つまり、交通がビジネスになるのではないかと？  
認証も重要になる。

= > 九大はオートモティブサイエンス専攻もあり、取り組みやすい。交通だと県も自動車150万台生産構想などもあり、進めやすい。(福田先生、芦原) 九大の石田先生のICカードとの親和性もありそう。

< 合田先生 >

今年は準備して、来年度に公募申請する。それまでは、各参加企業の持ち寄りで進める。

< 宮川様 >

電力さんにメリットがないとうまくいかない。電力さんのやりたいテーマとしたほうがよい。

= > < 大垣様 > いや需要家に必要なテーマがよい。

以上